

## 協定校留学報告書

記入日	2023年7月5日
学部・学科	人文社会科学部 現代社会学科
学年	4年次
(留学開始時の学年)	3年次
留学先大学・国名	静宜大学
留学開始・終了時期	2022年9月～2023年6月(10カ月)

### 1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
<p>授業やメディア等で知る海外の情報を、実際に現地で見聞きしそして感じて自分のものにしたいと考えたからです。これまで海外での生活について興味があり、さらに大学でも国際系の授業を多くとってきました。それらの自分が学んできたことを海外で実際に確かめてみたいという思いをぶつける良い機会だと考えました。また大学生は長期留学に挑戦するラストチャンスだと思い留学に踏み切りました。</p>
② この協定校に決めた理由を教えてください。
<p>一つ目は、これまでの体験より中国語を学びたいという思いがあったからです。先輩方の体験談や協定校情報から、静宜大学は中国語圏の協定校の中でも、初級・中級レベルの学習者へのサポートが充実していることを知りました。また、他の中国語圏の協定校は、応募要件となる HSK 等の語学スコアが高かったのですが、静宜大学は語学スコアを持っていなくとも応募できるということからこの協定校に決定しました。</p> <p>二つ目は、コロナ禍で受け入れが難しい協定校が多い中、静宜大学は受け入れ可能であったためです。就活や卒論のことを考えて、一年間ほどの長期留学に参加するなら大学3年生が最後の機会だと考えていました。あと一年待てば受け入れを再開する大学も増えるということでしたが、どうしてもこのタイミングで行きたかったので、一年間受け入れてくれるこの大学での留学を決意しました。とにかく3年次での留学にこだわっていましたが、今振り返るとなぜあんなにこだわっていたのか正直分かりません(当時は同級生が就活をはじめている姿を見て焦っていたのだと思います)。しっかり留学準備をして、帰国後の計画も明確に立てることができていればどのタイミングでも留学は可能だと思います。</p>
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
<p>語学要件がなかったので留学前に追加で資格を取ることはありませんでしたが、自分で単語や簡単な日常会話等を勉強していました。特に中国語特有の声調を iPhone のアプリなどを使って重点的に練習していました。また、3年生の前期に自由履修という形で、第二言語の中国語の授業を1年生の皆さんと受講させていただきました。一人でやるよりも、授業で大勢の人と勉強できるのはモチベーションの維持にもつながったのでいい選択だったと思います。しかし、もっと単語を勉強していくべきだったと反省しています。</p>
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
<p>私は一年間卒業を延期することを決めて留学したので、授業面でも就活面でも特別なことはしませんでした。しかし、留学前にできるだけ多くの単位を取得しました。留年・休学するしないに関わらず、出発前にできるだけ多く単位を取得するほうが帰国後は楽になると思います。</p>
⑤ どのような保険に加入しましたか。( ) に○をつけてください。

<p>a. 留学先大学が指定した保険 ( <input type="radio"/> )</p> <p>b. 個人の保険のみ ( <input type="checkbox"/> )</p> <p>c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ( <input type="checkbox"/> )</p>
<p>⑥ 予防接種は必要でしたか。 ( <input type="checkbox"/> ) に○をつけてください。</p>
<p>a. はい ( <input type="checkbox"/> ) 具体的に :</p> <p>b. いいえ ( <input checked="" type="radio"/> ) 出発前には必要ありませんでしたが、留学中に居留証を申請するために麻疹風疹の予防接種を受けさせられました(抗体がなくなっていたため)。台湾での予防接種を急に強いられるため出費もかさみ、海外での予防接種ということで不安な面がありました。小さい頃に麻疹風疹の予防接種を受けた方は抗体がなくなっている可能性があるそうなので、健康診断の書類作成の際にしっかり確認することをおすすめします。</p>
<p>⑦ 留学先への入国手続きについて、どのように準備しましたか。 (査証申請手続きや新型コロナウイルスにかかる水際対策対応の手続き等)</p>
<p>VISA の取得が留学前の準備で一番大変でした。まず日本に台湾の VISA 申請をする場所が限られていて、茨大の方が近くで申請するとすれば、東京の「台北駐日経済文化代表処」というところまでいかなければなりません。この東京の代表処は関東や東北地方など 15 都県を管轄しているので申請に訪れる人が多いのですが、私が申請をした当時はコロナ禍のため建物に入る人数が制限されていてオンラインでの予約が必須でした。そのオンライン予約は朝 8 時にサイトがオープンするのですが、すぐに満員になってしまい 3 度くらい挑戦しましたが予約をとれませんでした。週に一回予約せずに現地で先着順で申請をすることができると聞き、5 時に水戸駅を出発し開所の 1 時間半前に代表処につきましたが、とんでもない行列で結局何もできずに帰りました。このままでは東京で取得するのは不可能だと思い、実家のある沖縄で取得しました。しかし出発前ギリギリでの取得になってしまったので、追加料金を払って無事受け取ることができました。</p> <p>東京の代表処の管轄外に実家がある方(関西や中部地方など)は、実家がある管轄内の代表処で申請・取得してもいいと思います。大阪の方の代表処は比較的予約がとりやすいと聞きました。また、停留ビザなのか居留ビザなのかで提出書類が変わってくるので、しっかり確認をすべきだと思います。コロナも落ち着いてきて、私のようには大変ではないと思いますが、台湾のお盆や旧正月など長い連休に合わせて代表処なども休みになるそうなので、早め早めの準備をおすすめします。</p>

## 2. 留学先での勉強について

<p>① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。</p>
<p>授業は一コマ 50 分で、だいたい一つの授業 50 分 + 休憩 10 分 + 授業 50 分でした。</p> <p>前期 : 週 15 時間の中国語 + アカデミークラス 6 単位</p> <p>【中国語コース】</p> <p>平日朝 9 時から 12 時まで大学の華語センターが開講している中国語のコースを受けました。中国語のレベルごとにクラス分けされていて、私は初級レベルから始めました。メインは、台湾の師範大学というところが出している 6 冊の教科書の内容をやっていく感じです。クラスごとに授業の進め方は様々で、私のクラスは基本的に週一回単語テストと单元のおさらいテストがありました。この授業は交換留学生だけでなく、華語センターの学生もいるので色々な国籍かつ世代の人と授業を受けることができました。私のクラスはいつも賑やかで学校に行くのが毎日楽しみでした。</p> <p>【新聞日文】2 単位 (週 2 時間)</p> <p>日本語学科の授業で、担当している先生も日本人の方でした。ニュースで用いられるような少し難しい日本語を学ぶ</p>

もので、ほとんど日本語で授業が行われていました。普段の授業から近くの席の人たちと交流する機会が設けられていて、この授業で仲良くなった台湾人も多いです。また日本学生は自分の地元紹介を発表することで成績がつけられ、最終レポートは、日本の学生と台湾の学生がグループでパワーポイントを作って提出しました。

#### 【台日観光研究】2単位（週2時間）

日本語学科の大学院生と交換留学生に向けた授業で、日本語で授業が行われていました。前半は観光という概念について、後半は台湾と日本の観光の現状について学びました。コロナ禍ということでコロナ後の観光のあり方についても考えました。中間レポートはなかったですが、最終レポートは少し大変で台湾の観光地を一つ選びパワーポイントで発表し、A4 10枚分のレポートを日本語と中国語で書きました。

#### 【日本現勢與台日關係研究】2単位（週2時間）

この授業は日本語学科の大学院生の授業で、日本語と中国語が用いられていました。名前の通り日本と台湾の関係特に政治のことに多く触れていました。第二次世界大戦以前の日本と台湾の関係性から、現在の台湾有事問題に至るまで、以前日本台湾交流協会に勤められていた担当教授の下、学ぶことができました。知らないことも多くとても為になった授業でした。中間レポートと期末レポートは中国語で書きました。

後期：アカデミッククラス 14 単位

#### 【台日民族文化概論】2単位（週2時間）

台湾文学学科の授業で台湾語と中国語で授業が行われていました。台湾の民族文化について学ぶ授業で、媽祖をはじめ台湾で信仰される神や伝統的なお祭りなど、毎回異なるテーマについて紹介していました。全て中国語でまた台湾語も交えて授業が行われるので、すべてを理解することは難しいですが、授業のスライドをメモしたり写真を撮ったりして復習をしていました。学期末にテストとレポートがありましたが、テストは現地の学生でも難しいということで、交換留学生はレポートのみで成績を出してくれました。

#### 【基礎徳文】3単位（週3時間）

ドイツ語の初級中級レベルの授業で、ドイツ語と中国語が用いられていました。現地の学生に向けての授業なので解説は中国語でした。以前ドイツ語を勉強していたことがあったので、復習のような形で履修しました。個人的に、自分の母国語ではなく他の言語で、別の言語を学ぶという機会はとても面白かったです。一度にドイツ語・中国語の両方の単語を学ぶことができたり、文法など少し共通している部分があるのを見つけると学ぶのが楽しかったです。中間・期末ともにテストがあり難易度も優しくかったです。留学先で新たに別の言語を学んでみるのも面白いと思います。

#### 【台湾日文資料導讀】2単位（週2時間）

日本語学科の授業で、日本統治時代の台湾について書かれた資料を翻訳する授業です。日本語と中国語両方で授業でした。毎授業違うグループが指定された資料の翻訳を発表し、その発表に対して教授が評価と解説をしていました。統治時代の資料ということで、日本語もところどころかな文字や古い表現が使われていたり日本語の勉強になり、統治時代の歴史についても学ぶことができました。毎回授業終了までに提出する翻訳の課題がありました。

### 【日語逐步口譯】2 単位 (週 2 時間)

日本語と中国語の翻訳の授業で、日本語で授業が行われていました。前半は日本語から中国語への翻訳で、後半は中国語から日本語への翻訳を行いました。CDや先生が読む文章を聞いて、その場で素早く翻訳するために練習をする授業でした。毎回テーマが異なる文章が流され、その文章の重要なポイントを抑えたり、日本語や中国語でより自然に訳せるような表現の仕方を学びました。中間レポートは、日本の曲を中国語で、台湾の曲を日本語で訳すという面白い課題で小グループで行いました。また期末テストは授業で学んだ資料から問題がでていました。

### 【全球英語談永續生活】2 単位 (週 2 時間)

英語で Global English for sustainable life という授業で、SDG s の主に環境目標の達成と持続可能な社会に向けての英語と中国語での授業でした。自由選択の授業で、英語学科や他の外国籍の学生も多く参加していました。環境問題を改善していくために私たちができることを考え発表したり、毎回自分の考えを英語で書いて提出していました。先生がとてもユニークな方で、発言がしやすい空気でした。中間・期末ともにパワポでの発表がありました。

### 【生活法律華語】2 単位 (週 2 時間)

この授業は外国籍の生徒に向けた授業で、台湾での法律の基礎を学んだり、中国語の法律用語について学ぶものでした。中国語と英語で授業が進められていて、欧米系の学生も多く参加していました。台湾の法律はすごく日本と似ているなと思いましたが、他の国とは異なる法律もあるらしく毎回議論の場が盛り上がっていました。中間テストは指定された法律用語の説明とその法律の説明を小グループで発表し、学期末は童話で起こる事件等を法律学的にみるとどうい判決になるのか考えるというユニークな課題が出されました。

### 【活力間歇有酸素】1 単位 (週 2 時間)

この授業はエアロビクスの授業で、体を動かしたいと思い履修しました。エアロビクスの動き一つ一つに名前があり毎回習った動きをうまくアレンジして、小グループで発表しました。体育の授業は色んな学部から参加者がいるので、新しい友達がたくさんできました。中間・期末テストは習った動きを取り入れて一曲のダンスを踊るというものでしたが、練習時間も十分に確保されていたので問題なく単位を取ることができました。

② 授業履修の際に、注意したほうが良いことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

静宜大学の交換留学生の単位のとり方は以下の 3 つのオプションがありました。(来年から変更もあるかも)

- ① 中国語コース 15 単位(1 日 3 時間×週 5)+アカデミッククラス 6 単位以内
- ② 中国語コース 6 単位(1 日 3 時間×週 2)+アカデミッククラス 15 単位以内
- ③ 全アカデミッククラス 21 単位以内

私は前期は①を選択し、後期は③にしました。自分の中国語レベルや目的に合わせて選択すると思います。また基本的には 21 単位以内しか履修することができませんが、追加料金を払えば 21 単位を超えて履修することも可能だそうです。中国語コースに関しては、初めの週にクラス分けがあり、もしクラスのレベルを変えたいのであれば、最初の 1 週間移動が可能です。教科書が少し高めなので、クラスが確定してから購入することをおすすめします(友人がクラス替えの前に教科書を購入してしまい、結局その教科書はレベルに合わず使わなかったそうです)。デジタル版の教科書もあるみたいなので購入を検討してみてもいいと思います。

アカデミーのクラスに関しては、シラバスが中国語と英語で書かれているのでしっかり確認してから履修したほうが良いです。特にどの言語で開講されるのかを注意して見てください。交換留学生のために履修登録期間が設けられているので、

何かわからないことがあれば OIA という国際センターの学生サポーターが親身に教えてくれます。また、第 1 回の授業で、自分が思っていたのと違うと感じれば、取消しをして別の授業に変更することも可能です。しかし、人気の授業は既に定員がうまっていることもあるので選べる幅は少なくなってしまいます。取消し期間も 1 日だけなので注意が必要です。とにかくわからないことがあれば、チューターさんや OIA の方にその都度問い合わせてみるのが良いと思います。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

私がいた中国語コースは、急に名前をあてられて発言する場が多く、最初は当たらないでくれとずっとひやひやしていました。でも、だんだん慣れてきて 3 か月後くらいには受け答えもスムーズになって、発言するのが楽しくなっていました。宿題も毎日程よく出されて次の日にみんなで確認するという形だったので、授業や宿題をこなせばある程度の中国語を習得できました。しかし、実際に街に出ると自分の中国語を聞き取ってくれないという体験も多く、発音をもっと注意してごらんとという先生のアドバイスから、教科書で習った新しい単語の音声を聞いて、発音に注意しながら声に出して読むということを繰り返していました。その結果、半年くらいたったころには現地の方にも一回で聞き取ってもらえることも増えて、自信につながりました。アカデミッククラスではわからないことがあったら、近くの学生に聞いたり、休み時間や授業後に質問しに行ったりしました。私は自分のことを交換留学生だからとポジティブに捉えて、分からないことがあって当然というマインドで挑んでいました。その結果いつも周りの学生や先生方がサポートしてくれました。とても感謝しています。

### [前期] 時間割

	月	火	水	木	金
1	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語
2	↓	↓	↓	↓	↓
3	↓	↓	↓	↓	↓
4		台日観光研究			
5					日本現勢與台日關係研究
6			新聞日文		

### [後期] 時間割

	月	火	水	木	金
1					
2		台灣日文資料導讀			活力間歇有氣
3					
4		全球英語談永續生活			
5	生活法律華語	基礎德文			
6	台日民族文化概論	↓		日語逐步口譯	

## 3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

大学がある地域は程よい田舎でした。学校から 5 分ほど歩けば、大学生が利用しやすいリーズナブルな飲食店が並ん

でいる通りがあります。スーパーやドラッグストアもこの通りにあるので、日用品もすぐに購入できます。また台湾おなじみの夜市が大学近くにあり、お祭りのような感じで屋台がならんでいます。この夜市は月・水・木の週3日間で開催されていました。バスに乗って20～30分先のところには大きなショッピングモールも多くあるので、買い物もしやすいです。そして静宜大学が位置する台中では、学生は10キロ圏内であればバス代が無料になるので交通費を気にせず遊びに出かけられます。

キャンパスは、山の上にあります。校門があるところから建物が集まっているところまで距離があり、毎日山登りです。特に夏は校門から、教室に行くまで汗だくで大変でした。一方で建物内はクーラーがとても効いているので、体が冷えて寒かったです。歩くのが大変な人は学校内を一周する無料のバスがあるのでそれを利用することもできますが、本数があまり多くないので確認が必要です。キャンパスはとてもきれいですが、広くて教室を見つけるのが一苦労だったので時間があるときに散策してルートを確認すると思います。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 (  ) : 何人部屋でしたか ( 2.3 人 )
- b. アパート (  ) : 何人部屋でしたか ( 人 )
- c. ホームステイ (  ) : 何人部屋でしたか ( 人 )
- d. その他 (  ) 具体的に :

③ 住むところはいつ頃、どのように申し込みましたか？また、どのような選択肢がありましたか？

大学の寮がいくつかありますが、コロナ禍ということもあり交換留学生は大学から10分ほど歩く学外の寮に振り分けられました。その寮で一人部屋か二人部屋がいろいろ選択しました。静宜大学から送られたフォームズに回答する形で申し込みました。現在は学校内の寮を希望することもできます。

④ 住環境（建物の場所、お部屋の間取りや設備、ルームメイト等）はどうでしたか。

大学の寮は学校内に男女共同の寮(棟は男子と女子で分かれています)、男子寮、女子寮、そして学外に女子寮が一つと合わせて4つあります。綺麗さは前述した順番の通りです。私は色々あってすべての寮に住んだことがありますが、綺麗さを求めるなら男女共同の寮で、学校へのアクセスの良さを求めるなら女子寮という感じです。男子寮は、綺麗さ・アクセスの良さともに中間くらいです。トイレとシャワーは共有で、清掃員の方が平日に掃除をしてくれています。部屋のクーラーは使う分お金をカードにチャージして、そのカードを差し込み口に挿入して使いました。古めの寮なので小汚くて気になる人も多いそうですが、慣れれば問題ないと思います。また学内の女子寮は改築工事をしていて再来年には新しい綺麗に寮になるそうです。学校内に日用品などが購入できる購買や、食堂とコンビニもあるので学外に出ずに生活できます。部屋割りは1～4人部屋で、どの人数にするかどの寮に住むか希望をとられて決定します。確か相部屋になりたい人も希望できたと思います。留学生は、留学生2人+台湾人2人という4人部屋に振り分けられることが多いです。

⑤ 食事はどうしましたか。

- a. 大学・寮のミールプラン (  )
- b. 主に外食 (  )
- c. 自炊と外食が半々程度 (  )
- d. その他 (  ) 具体的に :

(補足説明) 台湾は外食文化なので、夜市や外の大通りでご飯を購入して食べていました。外食と言っても安いので問題ないです。また学校にも食堂やコンビニがあるので外に出たくない日にもなんとかかなります。

⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。

前期は日本語学科の子たちが参加するバドミントンクラブに週2回参加していました。体を動かしながら、コミュニケーション

ョンをとって、練習後はみんなで夜食を食べに行きながらおしゃべりしていました。休みの日もそのメンバーでよく出かけたりしていました。日本人の留学生も多く参加していました。

後期は、日本人がいないクラブに参加してみようと思って、日本語学科の生徒会の活動に参加しました。私が中国語を喋って彼らは日本語で返すというような形でコミュニケーションをとっていました。この生徒会は日本文化を発信するようなイベント(着物やお茶の講座、お化け屋敷など)を企画運営をしていました。後期はほとんど彼らと過ごしていて、夜遅くまでイベントの準備や練習をしていました。外国で現地学生と交流して一緒に過ごしなが、イベント等を成し遂げた経験は大きな成果になったと思います。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

たくさん旅行に行きました。大学内に留学生を連れて旅行に連れて行ってくれる機関があり、その機関の活動に参加して旅行に行ったり、友達同士で旅行に行きました。台湾は日本と比べて比較的交通費が安いので、旅行しやすいです。また大学がある台中市は台湾の真ん中に位置していて、北にも南にも移動しやすく、空港もバスで 20 分ほどのところにあるのでとても便利でした。台湾のほとんどの県を訪れて、金門島や蘭嶼などの離島にも行きました。旧正月の時期も、台湾人の知り合いのおうちにおじゃまさせてもらって、伝統文化を体験することができました。

⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

食事には気を付けてください。台湾は夜市が多いですが、生ものや調理する前の材料が外に置かれていて、注文が来たらそれらの材料を使って調理を始める感じです。少し不衛生なのでお腹を崩しやすい人は薬を常備しておく必要があると思います。私は夜市のものを食べて二回ほどノロウイルスになりました。ほんとにしんどかったです。たまたま友人宅にお泊りに来ていたので、友人家族に連れられて病院に行き薬を処方してもらってすぐに戻りました。対策としては、体調の悪い日は生ものを食べないようにする、生ものを食べた際は水分をこまめにとることが挙げられると思います。と言っても台湾の海鮮料理はとても美味しいので自分の体調と相談しながら、ぜひ食べてみてほしいです。またバイクに乗っている人が多く、運転が荒い人もいるので道を渡る際などは気を付けてほしいです。

⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

前述したように、夜市で食べ物があるまま外に置かれていたり、それをそのまま使って料理をしているので最初の方は衛生的に大丈夫かなと不安になると思います。しかし、私の経験上そのような少し小汚い歴史を感じる出店の料理の方が美味しいです。また台湾人は並ぶのが好きらしくて、長蛇の列に並ばないと買えない屋台やお店が多くありますが、絶対に並んで購入してみてください。並んでいる理由が分かるほどおいしいお店が多いです。食事に関しては、グーグルなどのレビューよりは現地の人にお勧めを聞いた方が美味しいものを食べられます。

また台湾人はバイクに乗っている人が多いです。友人などが運転するバイクに乗せてもらう機会があると思いますが、排気ガスがすごいのでマスクをすることをおすすめします。風が気持ちよくて何もせずに乗っていたら、次の日から喉を痛めました。冬は風が冷たいのでダウンを来て乗車したほうが良いです。運転が荒い人がいて、歩道を平気で運転してくる人もいるので、道を歩いているときも気を付けてください。

#### 4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

※各費用の下の空欄には補足事項をご記入ください。どんな些細な情報でも大歓迎です。

##### 留学前

査証申請費	9,800 円
-------	---------

査証申請費 6800 円 + 早期受領申請費 3000 円	
渡航費(往路航空運賃)	50,000 円
成田空港発 コロナ禍で価格が高かったです	
海外旅行保険代 (出発前に日本で加入したもの)	99,400 円
コロナ水際対策費用 (陰性証明書、隔離費用、移動費等)	86,000 円
隔離ホテル代 80,000 円 + タクシー移動代 6,000 円	

## 留学中

授業料 (有料コースを受講の場合)	130,000 円
前期は交換留学としてではなく、華語センターの学生として中国語コースを受けていたので学費と別に授業料を払う必要がありました。(コロナの影響で)	
授業料以外の学費 (教材費や登録料)	15,000 円
現地で加入した保険料	
住居費 (寮費)	100,000 円
前期、後期 50000 円ずつ	
住居費 (寮費以外の費用、光熱水料やインターネット)	1,000 円
ほとんど寮費として一緒に徴収されていました。	
食費 (自炊・外食の有無)	30,000 円(一か月)
通信費 (SIM カードや現地でスマホ購入等)	30,000 円
一年間の SIM カード代	
交通費 (通学に必要なバスや休日市内での公共交通機関)	円
台中市内 10 キロ圏内であれば無料。20 元以内で市内を回れる。	
娯楽費 (国内旅行に行ったり)	300,000 円
その他生活費	円
渡航費(袋航空運賃)	30,000 円
留学先でのお金の管理方法 (クレジットカード、デビットカード、現地での口座開設等)	
前期は、デビットカードを使い ATM でお金をおろして使っていました。後期の方は居留証の申請で必要だったため、台湾の郵便局の口座を開設したのでそれに一気に現金をうつして、そこからちょこちょこ現金を下ろして使っていました(この口座は手数料がかからないので)。台湾で口座を開設する際は、パスポート、学生	

証、印鑑(まちにある印鑑屋さんでつくれます。100 円以内でした)、統一番号、住宅証明書、を持って学校の郵便局に申請して、手数料 100 元を払えばその日に開設しカードや通帳を受け取ることができます。

### 留学経費の負担について

留学のための奨学金等や助成金を利用した場合は以下もご記入ください	
奨学金名	
応募方法	

## 5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. ( ) 4年で卒業予定

b. ( ○ ) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 1年 )

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

留学中に就活は特にしませんでした。自分が将来やりたいことはなんなのかを考える時間を多く作っていました。留学後は、台湾での経験を生かせるようなテーマで卒論を書きたいと思っています。留学中に面接やインターンをしている人もいましたが、精神的にも身体的にもしんどそうだったのであまりおすすめはしません。海外での生活はなかなか体験できないので、日本では体験できないようなことにチャレンジすることを優先したほうが今後の人生にも生かせると思います。

## 6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

台湾で留学生活を送れて本当に良かったです。気候も暖かでご飯もおいしくて、人も温かくとても過ごしやすかったです。親日国なので差別もないし、治安もよくてのびのびと生活できました。最初の方は人と喋るのが怖くてコンビニばかり行っていたのですが、自分の中国語が通じるようになってからはよく外食にも出かけて店員さんとも仲良くなって、サービスしてもらうなんてことも多々ありました。こんな風に私がのびのび留学生活を送れたのは、優しい台湾人の友人や一緒に頑張る留学生、そして日本で応援してくれるみんながいたからだと思います。この一年間でたくさんの人にお世話になって、無償の優しさや笑顔をたくさんもらいました。今度は私が多くの人に無償の優しさや笑顔を届けていきたいです。この報告書には収まりきらないくらいたくさん思い出ができました。人生においてとても濃い10か月間でした。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

いい意味で図々しくなったと思います。日本人は何においても遠慮したり周りの目を気にして行動することが多いと思いますが、台湾人は違います。食事の好き嫌いははっきりしているし、それを口に出してちゃんと伝えます。行列ができていのに店員さんとおしゃべりをしていて、後ろに並んでいる人も特に怒る様子もありません。みんな良い意味で自分のことが優先で時間を気にせずのんびりしています。そんな彼らの姿を見て、私も周りの目を気にせずありのままの態度が身につきました。また家族のことをもっと大事にしようという意識が強くなりました。台湾人は家族との距離がすごく近くて、親とも毎日連絡を取り合っている人も少なくなく、友達のような感じで接しているのを見かけます。寮に住んでいても、毎週末実家に帰る人も多くて強い家族愛を感じました。家族で過ごす伝統行事が多いこともその理由だと思います。私も海外で暮らすことによって家族の大切さや温かさ、そして感謝の気持ちを改めて実感したので、もっと家族と過ごす時間をとったり連絡をこまめにしていきたいです。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

お金や時間、今後の生活のことなど色々なことがじゃまをしてなかなか留学に踏み切れない人も多いと思います。しかし、ほかの留学経験者も語っているように「とにかくやってみる！」につきます。誰だって新しいことに挑戦するときは不安もありますし、考えなければならぬこと・やらないとけないことも確実に増えます。でも私は留学を通して絶対に成長できた自信があるし、挑戦して良かったと心からいえます。就職してしまうと自分の時間を確保するのが難しくなるので、大学生のこのタイミングでの留学は絶好のチャンスです。あなたのその決意が今後の人生を大きく変えるかもしれません。挑戦あるのみです！